

黒埼町 町制施行10周年記念

♪ 歌おうふるさとを!! ♪

— 作品募集要項 —

私たちふるさとくろさきの歌コンテスト

黒埼町は、県都新潟市の表玄関に位置しゆるぎない発展を続けています。

昭和五十八年二月一日には町制施行十周年を迎えさらに飛躍しようとしております。町では、誰でも親しみやすく愛唱される「黒埼町民歌(ふるさとの歌)」を制定し、郷土愛と文化の向上町民の融和と親ばくをはかるため、次のとおり広く一般から歌詞を募集することにいたしましたのでよるってご応募下さい。

なお歌詞のみ募集し、補詞、作曲は専門家に依頼することにしております。

一、歌詞
黒埼町の自然、歴史、伝統、文化、未来や願望などを平易で明るい表現のなかで折り込み、黒埼町を愛する心を広く健康的で親しみやすく民謡調で愛唱するにふさわしい内容のもの。

二、表彰
▼入選作と佳作に賞状及び副賞を贈呈いたします。
▼入選作(一編) 副賞十万円
▼佳作(二編) 副賞二万円
▼入選、佳作については広報紙で発表いたします。

三、応募資格
制限はなく広く応募します。

四、応募上の注意
▼盗作または模倣は入選後、取り消すことがあります。

私の視点

本年五月一日から本町に変化が生じました。それは野球場に夜間照明施設、いわゆるナイター施設が完成したということであり、

私の家の外に出ると西の空が真赤に焼けているのです。ふと考えが浮びました。「世の流れ夜空を焦すナイター照明等昔の大火を憶はせる」思わず、あつ? 火災でなくてよかつたと安堵致しました。

このことは言うまでもなく、

町長 浅妻 次一郎

私共は消防力の貧弱な時代に、腕用ポンプで消火活動をし、当時の恐怖感を知っているからです。そんなこと知つていようが知つていまいが、時代が変わつたと言つてしまえばそれまでですが、私が言いたいのは「火の用心」ということを強調したかったのです。

常に先人の苦勞、体験、努力を忘れることなく感謝の心を持って物事の変化に対処したならば、見方、考え方は大きく変わるといふことです。

さて、待望のナイター施設は、オイルショックや省エネ対策などで大変遅れた事業着手になりましたが、議会や町民の理解、協力を得、国や県に要請し、五十五年度事業として着工、四月十八日竣工五月一日ナイター開きを行ったものです。

その後も速日愛好者に利用されていることは誠によろこばしい限りです。このことは町民の体力づくりと技を磨き、青少年の健全育成、そして仲間づくり、連帯と強調をはかり、親ばくと融和のもとで明るい家庭、地域社会を形成し、強じんな黒埼町の建設を願うものです。

▼入選作であっても審査委員または作詞、作曲専門家から補作される場合もあります。

▼応募原稿は四百字原稿用紙を用い、新かなづかいではつきりとかかりやすく書いて下さい。また、漢字にはふりがなをつけて下さい。

▼原稿の冒頭に住所、氏名、年齢、性別、職業、勤務先及び自宅電話番号を明記して下さい。

▼応募は一人何編でも可ですが未発表作品に限りです。

五、締め切り、あて先、その他

▼応募締め切りは昭和五十七年二月末日(当日消印有効)

▼あて先
西蒲原郡黒埼町大野二八四
三十一(千九五〇一一)
黒埼町役場総務課

▼入選作品の著作権は受賞の日から黒埼町に所属するものとします。

▼詳細については
☎〇二五三七七三二〇一
黒埼町役場総務課
へお問い合わせ下さい。



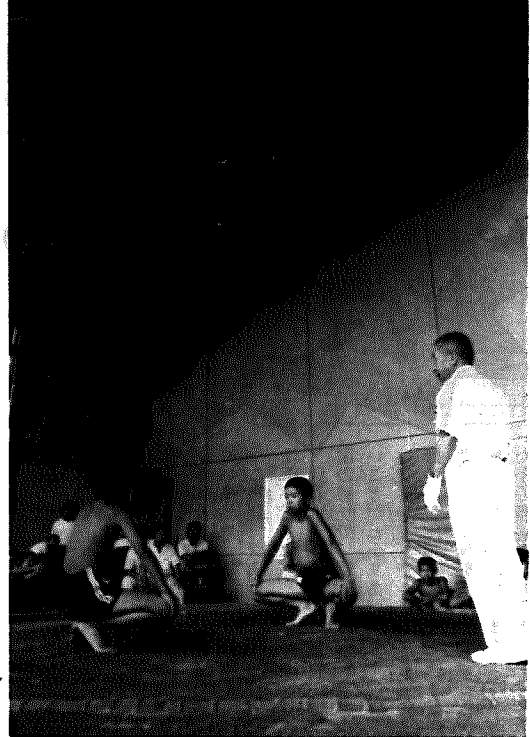
黒埼町少年相撲大会

夏休みも終盤の八月二十一日(日)、第十三回黒埼町少年相撲大会が行われました。

会場となった総合体育館には、各小学校代表の豆力士が先生に引率されて集合。

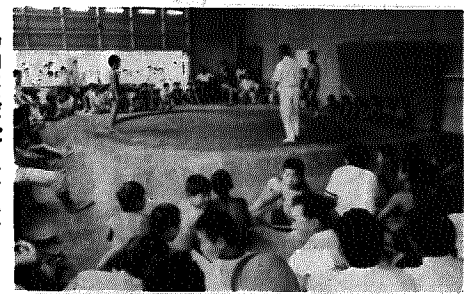
開会式は、前年度優勝校の立仏小から優勝トロフィーが返還され、浅妻町長から「伝統ある黒埼町の相撲を今後も発展させて下さい。とのあいさつ」の後、試合開始。

各小学校の子選手を通過してきた選手だけに大熱戦。大きい選手と



▲「見あつて、見あつて、」緊張の一瞬

- ### 大会成績
- ▼小学校団体戦
- 一位 立仏小
 - 二位 大野小
 - 三位 山田小
- ▼小学生個人
- 四年生
- 一位 坂井俊夫(板井小)
 - 二位 鷲尾信幸(黒鳥小)
 - 三位 池 秀樹(立仏小)
- 五年生
- 一位 松本 靖(立仏小)
 - 二位 中川善一郎(立仏小)
 - 三位 今井宏司(立仏小)
- 六年生
- 一位 小林賢司(立仏小)
 - 二位 熊倉哲也(立仏小)
 - 三位 高橋 司(大野小)
- ▼中学生個人
- 一年生
- 一位 青木崇徳
 - 二位 須藤哲広
 - 三位 高橋 浩



▶場内は熱気でムンムン



▶迫熱したブレイのテニス大会

ラケット片手に

第三回黒埼テニス大会

残暑厳しい八月三十日(日)、第三回黒埼テニス大会が、百名余の参加者をもって行われました。

会場となった総合体育館横のテニスコートにはカラフルなテニスウェアを着こんだ人で一杯、試合は全てダブルスで、男子A

二年生

※水泳大会の為不参加

- 三年生
- 一位 林 則彰
- 二位 猪原順一
- 三位 白井孝治

クラスは筒井・東組、Bクラスは小武内、諸橋組、女子は安藤、木了組がそれぞれ優勝。

近年はテニスが大ブーム。本町でも初心者テニス教室が開かれたり、これからも愛好者が増えそうです。

